メディカル

井上歯科医院

患者さんに一番あった治療を心がけています。

今日は！中崎１丁目の井上歯科医院の井上です。両親が開業していた同じ場所で平成25年より開業しています。大学病院では口腔外科やインプラントを専門にしていたので、その辺のところについてお話ししたいと思います。

最近は皆さん歯磨きが上手になり、虫歯や歯槽膿漏は以前に比べて大幅に少なくなっていますが、その一方で歯並びの悪い方が増えてきています。

その原因には色々ありますが、１つは親知らず（親不知）の生え方です。親不知が斜めや横向きに生えてくるので、前方の歯を押して歯並びを悪くすることがあります（図①）。また掃除しにくい場所に生えてくるのでその結果、腫れたり痛んだりすることもあるので、出来れば検診で親不知の有無や位置の確認をされた方が良いと思います。

そして親不知の抜歯がより適切であるという場合、出来れば親不知の根っこが完成する前（20歳頃）に抜く方が楽で偶発症の低下にもなります。（図②）

色々な疾患で治療中の方も多くおられます。抜歯後に血が止まりにくいなどのことが起こる場合もありますので、服用中の薬や疾患について歯科受診の際には必ずお伝え下さい。

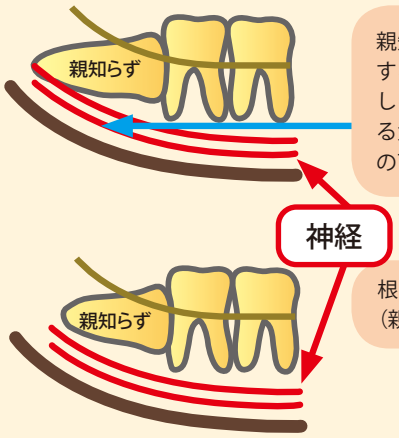
不幸にして歯が無くなった場合は今までは義歯やブリッジでの治療が主でしたが、近年はインプラントによる治療も選択肢の一つとなってきました。（図③）

顎（あご）の骨の健康状態などにも依りますし、簡単ではありますが手術が必要となりますので、全ての方に施術出来る訳ではありませんが、義歯やブリッジの欠点を改善する事も出来ますので、興味のある方は一度説明を聞かれてもよいかと思います。

それぞれの患者さんに一番あった治療法を丁寧にご説明いたします。お気軽にお越し下さい。

歯の事について、お気軽にお問い合わせ下さい。

下顎の親知らずの位置（図②）

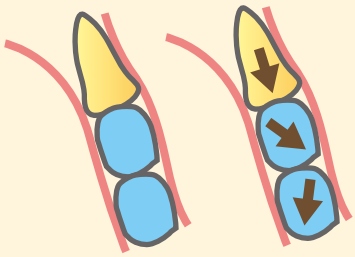


親知らずの歯根（根っこ）の部分が成長する前に抜歯する方が偶発症などが発生しにくい。歯根が成長すると根の先にある太い神経に近くなり、抜歯の際に損傷の可能性が出てくる。

根っこが完成する前は神経から離れている。（親知らずの根っこは短い）

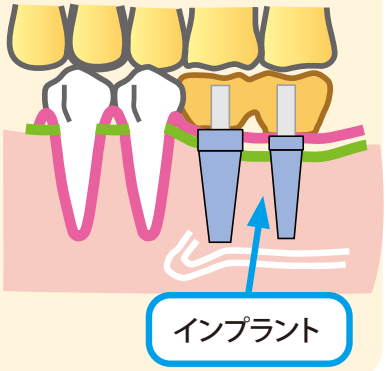
親知らずによる歯列への影響（図①）

親知らずが生えてくると前の歯を押し歯並びに障害が出てきやすい。



インプラント（図③）

喪失した歯の代わりに金属等でできた人工の歯根を顎骨に埋め込み、その上に人工の歯をかぶせます。そのため、異物感が少なく、殆どもとあった歯のように咀嚼できます。



院長紹介

【歯科医師】 井上 雅裕

大阪府生まれ
昭和56年　大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
　　神戸市立市民病院勤務
昭和58年　大阪歯科大学口腔外科学第二講座　助手
平成19年　大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科
　　准教授
平成25年4月　井上歯科医院　院長
平成25年4月　大阪歯科大学口腔外科学第二講座
　　非常勤講師
■所属学協会：日本口腔外科学会、日本歯科放射線学会、大阪歯科学会、日本口腔インプラント学会

■診療時間（月曜日～金曜日）
　午前診／10:00 ～ 13:00　午後診／15:00 ～ 19:00
■休診日　土、日、祝日

〒530-0016
大阪市北区中崎
1-4-20
TEL
06-6312-0122
地下鉄「中崎町」
駅１番出口より
徒歩1分

http://inoue-dent-0122.sakura.ne.jp

制作・編集担当　神原宏一